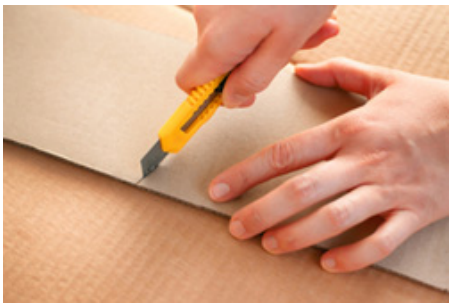
ロングセラー商品に学ぶ、ビジネスの勘所（第27回）

折る刃式カッターナイフのヒントは路上にあった

2021.02.15



刃を折れば真新しい刃先になるカッターナイフは、刃を研いだりする手間がなく、常に切れ味を鋭く保つことができるとても便利な商品です。この「折る刃式カッターナイフ」は、オルファ株式会社が世界で初めて考案したもの。1960年の発売以来、60年にわたり世界で愛用され続けているロングセラーです。

オルファの創業者・岡田良男は、印刷紙を断裁する大阪の町工場の家に生まれました。手先が器用だった良男は、家計を助けるためにいくつかの仕事に就いた後、印刷会社で働き始めます。

この印刷会社では、職人はカミソリで紙を切っていました。しかし何枚にも重ねた紙を切るため刃先の摩耗が激しく、すぐにカミソリを捨てることになります。

もったいない。使い続けても切れ味が悪くならないカミソリができないものだろうか──。こう考えていたあるとき、良男は路上で靴を修理している職人の姿を目にします。靴職人は、ガラスの破片を使って靴底などを補修しています。そして、ガラスが擦り減って先が鈍くなると、破片の先を割って新たにとがらせていました。

この様子を見ていた良男は、敗戦後、進駐軍の兵隊が持っていた板チョコを思い出しました。板チョコには筋が入っていて、ポキンと割ることができます。そうか、板チョコみたいに刃に筋を入れて折れるようにすれば、靴職人のガラスと同じように1枚の刃を何度でも使えるようになる──。

手先が器用で工作好きの良男は、仕事が終わってから印刷工場の片隅で「板チョコのように割れる刃」を作り始めました。

アイデアを形にするための方法とこだわり… 続きを読む